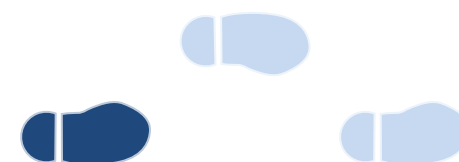


神田警察通り周辺地域における回遊性検討（議論用）

1. 神田警察通り周辺地域における回遊性検討の目的と検討のフレーム
2. 回遊性実現に向けた神田警察通り周辺地域ウォーカブルプラン
3. 回遊性実現に向けたまちづくりのポイント（手法・体制）

1. 神田警察通り周辺地域における回遊性検討の目的と検討のフレーム



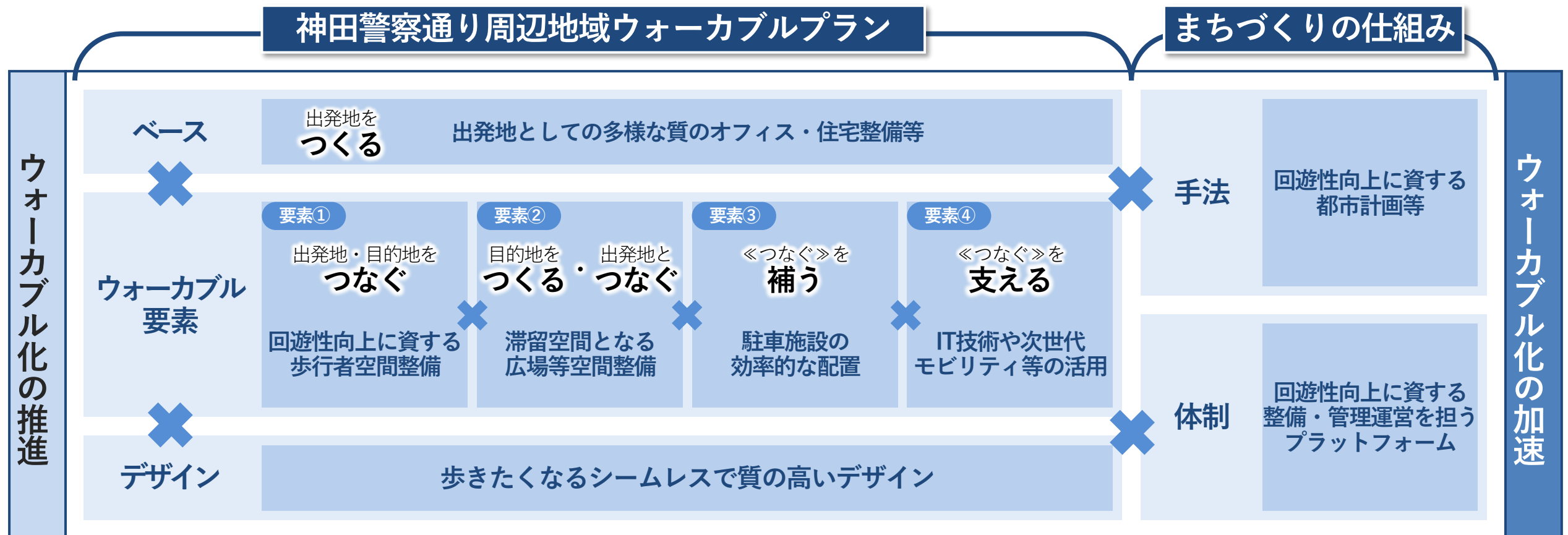
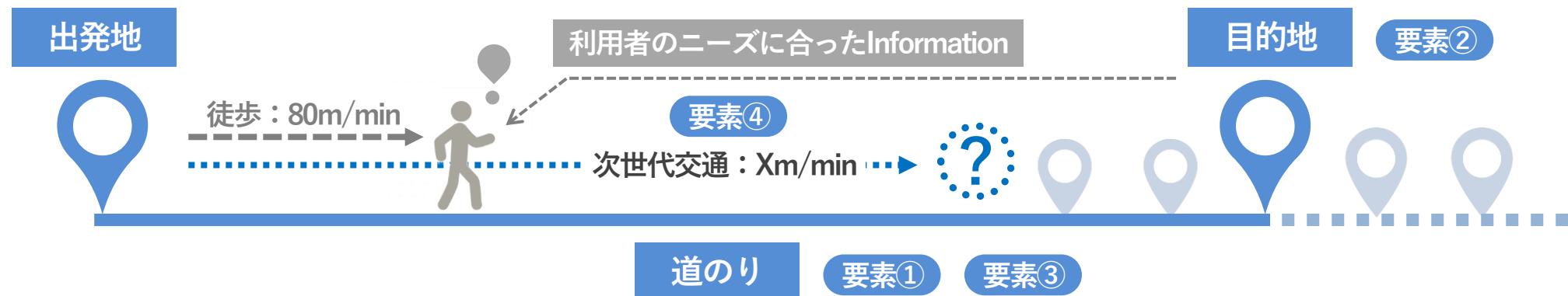
● 本検討の目的

神田警察通り周辺地域では、都市骨格軸をはじめとしたまちの基本的な構造等を示す「千代田区都市計画マスタープラン」の改定がなされ、これと並行して、地元・有識者を委員とした会議体で、「つなぐまち神田」の実現に向けた具体的な取り組み方針を記載した「神田警察通り周辺まちづくり方針」（案）の策定検討が進められている。

これら上位計画の動向を踏まえ、歩行者の回遊性向上を中心としたウォーカブルなまちづくりを切り口に、その具体的な展開プラン（まちなかウォーカブルプランとその実現の仕組み等）について、検討を行うことを目的とする。

神田警察通り周辺地域における回遊性検討のフレーム

- 回遊性実現（ウォーカブル化）によりまちの価値が向上し、多様な人が集まり、ウォーカブル化が加速する持続的なサイクルが生まれる
- 回遊性を実現するためには、多様性のある出発地・目的地をつくり・つなぐことが重要
- 回遊性実現に向け、神田警察通り周辺地域ウォーカブルプラン（出発地・目的地やそれらをつなぐ歩行者空間の有り様）、実現に向けたまちづくりの仕組み（手法、体制）を検討する



『つなぐまち神田』の実現 ・ 神田警察通り周辺地域の価値向上

多様な人が集まる

神田警察通り周辺地域の『ヒト』の多様性に着目した『出発地・目的地』の見取り

凡例  : 出発地／目的地  : ヒトの動き

バシヨ ヒト	出発地	出発地～目的地の道のり（+目的地）		目的地（+出発地～目的地の道のり）		
		基幹街路 （警察通りほか）	その他主要細街路	広場	歩行者中心の通り （西口商店街・一八通り他）	施設 （店舗・文化交流施設等）
ワーカー 現在約9.4万人*1	 働く場 @神田	 歩行者空間等 （+次世代交通）  平日ランチ	 歩行者空間等 （次世代交通）	 歩行者空間  ランチ休憩 青空オフィス 平日イベント	 歩行者空間  平日ランチ 平日飲み会	 平日ランチ ショッピング 平日イベント
住民 現在約0.9万人*2	 住まい @神田	 歩行者空間等 （+次世代交通）  平休日ランチ 休日イベント	 歩行者空間等 （次世代交通）	 歩行者空間  散歩・休憩 子どもの遊び場 平休日イベント	 歩行者空間  平休日ランチ ご近所付合い	 ショッピング 文化交流活動 町会活動 平休日イベント
通う学生 現在約1.4万人*3	 高校・大学等 @神田	 歩行者空間等 （+次世代交通）  平日ランチ	 歩行者空間等 （次世代交通）	 歩行者空間  勉強・休憩 平日イベント	 歩行者空間  平日ランチ	 ショッピング サークル活動 平日イベント
隣接地域の ヒト 大手町のワーカー 御茶ノ水の学生 等 現在約21.2万人*4	 靖国通(北) 日本橋川 の架橋(南)	 歩行者空間等 （+次世代交通）  平日ランチ	 歩行者空間等 （次世代交通）	 歩行者空間  ランチ休憩 青空オフィス 平日イベント	 歩行者空間  平日ランチ 平日飲み会	 ショッピング 平日イベント
訪れる 来街者*5	 神田駅 竹橋駅 小川町/淡路町駅 神保町駅	 歩行者空間等 （+次世代交通）  休日イベント	 歩行者空間等 （次世代交通）	 歩行者空間  イベント参加	 歩行者空間  休日イベント	 ショッピング 休日イベント

- 神田警察通り周辺地域は多様なヒトが集まり得るまち → 出発地・目的地、その使い方、その間の道のりはヒトにより多様
- 多様なヒトのニーズにあわせた出発地・目的地づくりと、隣接地域も含めた出発地・目的地をつなぐことがまちの価値を高める
- 出発地・目的地は、既成市街地により担われているものもあれば、開発（比較的大規模な共同化）により新たに整備すべきものもある

*1：当地域内の従業員数（H28経済センサスを集計）
*2：当地域内の居住人口（H27国勢調査を集計）
*3：当地域内の学校の在学人数を集計

*4：隣接地域（当地域より概ね徒歩5分）の昼間人口
*5：隣接5駅の乗降客数の半数＝41.9万人/日

2. 回遊性実現に向けた神田警察通り周辺地域ウォーカブルプラン



神田警察通り周辺地域ウォーカブルプランのポイント

都市計画マスタープランからの読み解き

- ・ **エリア回遊軸** では、近接する拠点や駅、個性ある界限をつなぎ、日常の移動経路として利用するだけでなく、街並みを楽しみ、まちの回遊の楽しさを広げる仕掛けを充実させる
- ・ **都市機能連携軸** では、都心の骨格となる軸としてふさわしい整えられた街並みの形成を進め、…(略)…快適な歩行空間をつくる
- ・ **環境創造軸** では、日本橋川の親水性を高め、大手町と連携した水辺の一体的な魅力づくりや街並み形成、快適な歩行空間をつくる
- ・ **戦略的先導地域** では、…(略)…神田警察通り沿いの都市機能やオープンスペースの連続性を強め、相乗効果を高めるとともに、東西南北の回遊性を向上させるまちづくりを展開

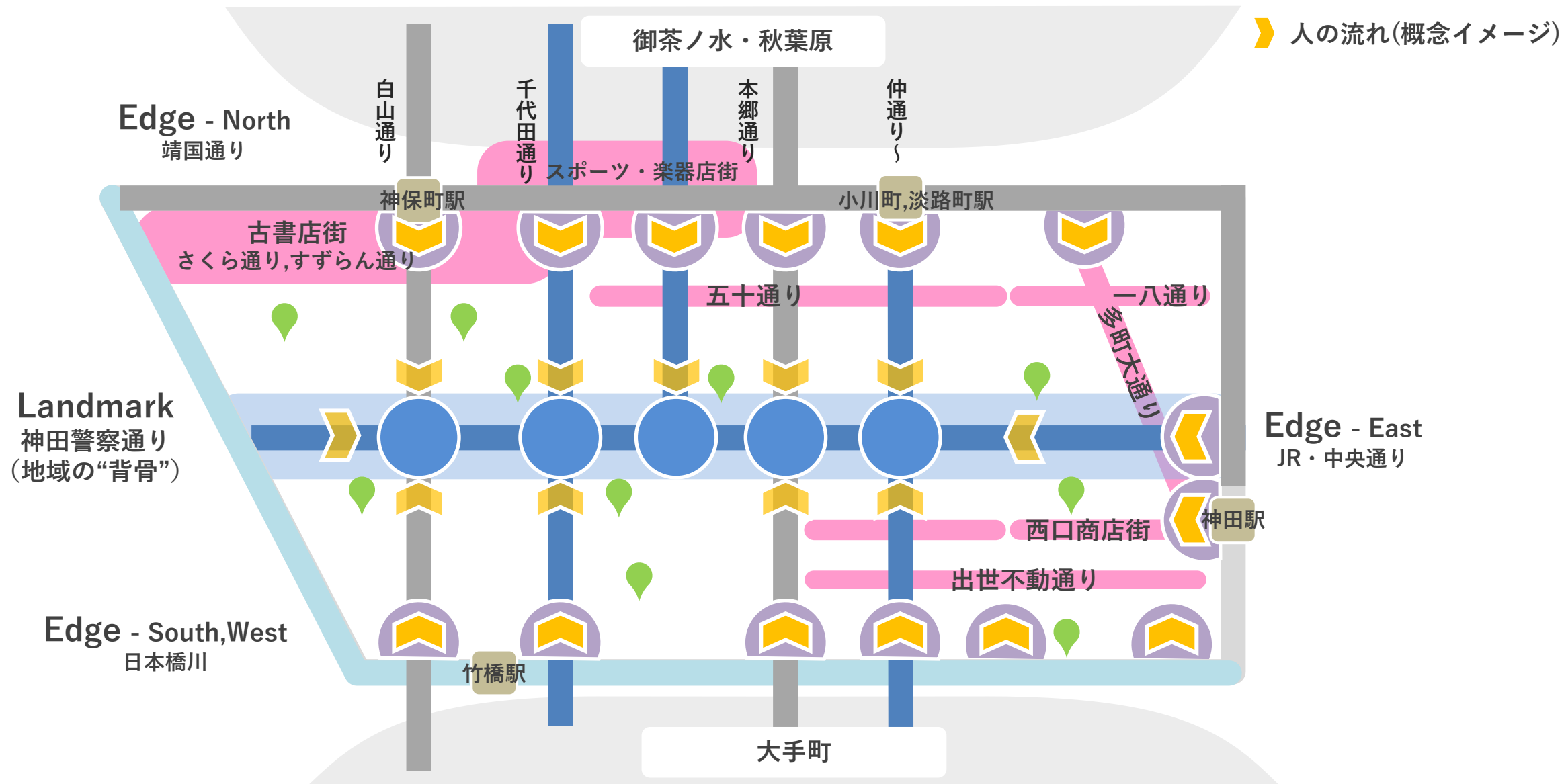
まちづくり方針（案）からの読み解き

- ・ “**神田らしさ**”とは、「さまざまな人やものを受け入れ、お互いを認め合い高め合ってきた**多様性**と**包摂性**のあるまち」
- ・ まちの「**目的地**」となる賑わいや交流の拠点づくり
- ・ 沿道の拠点群が一体として連携するまちの**骨格軸強化**
- ・ 玄関口となる**駅とまちのつながり**向上
- ・ 大通りとは異なる、**ヒューマンスケールな賑わい**のある歩行者中心の沿道空間形成

神田警察通り周辺地域ウォーカブルプランのポイント

- ① 地域の“背骨”として東西の賑わいをつなぐ神田警察通りの整備に合わせ、沿道に『エリア回遊軸等が交差する人が行き交う拠点<<Node>>』を複数形成・連携させ、地域に多様な人を惹きつける拠点群<<Landmark>>を整備
- ② あわせて、隣接地域から拠点群へ人を呼び込むために『玄関口となる拠点<<Node>>』を形成し、拠点群<<Landmark>>と連携
- ③ 加えて、既成市街地の中小規模のスケールを活かしたまちづくりにより、多様な出発地・目的地を整備。特に、神田ならではの個性・特色ある地域資源が位置するエリアは、地域資源を活かす
- ④ 出発地・目的地をつなぐ歩行者空間<<Path>>の整備や歩行を補完するモビリティ機能の導入等により、地域の拠点・地域資源を連携させ、内外の歩行者の回遊性を促進
- ⑤ 環境創造軸である日本橋川沿いにおいて、歩行空間・滞留空間を形成し、内外の歩行者の回遊性を促進

上位計画等から読み解く神田警察通り周辺地域ウォーカブルプランの構造化

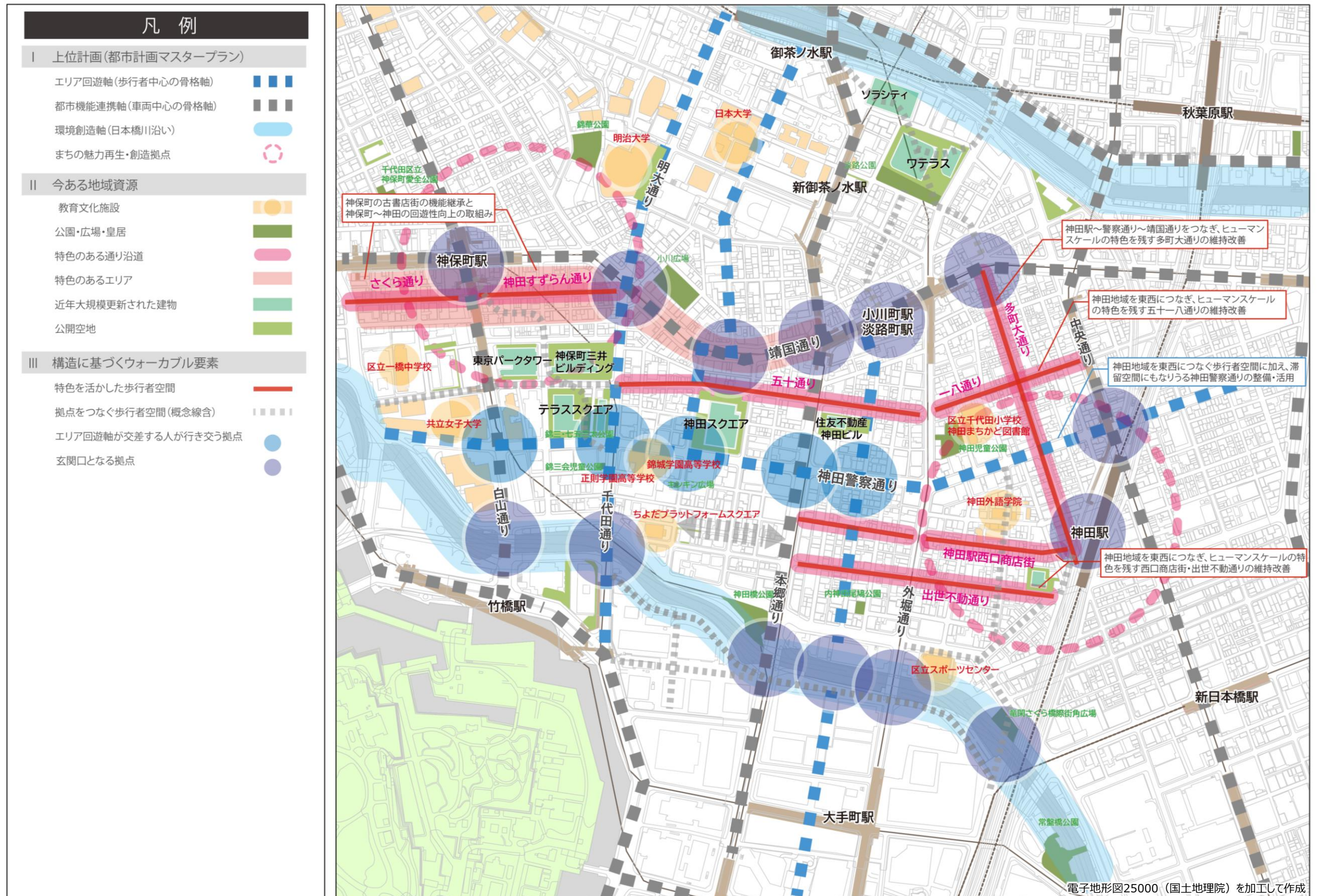


- Path 1 - エリア回遊軸 (時には目的地にも)
- Path 2 - 都市機能連携軸
- Node 1 - エリア回遊軸等が交差する人が行き交う拠点
- Node 2 - 玄関口となる拠点

- 神田ならではの地域資源 (Path & Node)
- 特色ある通り沿道・エリア
 - 環境創造軸 (日本橋川沿い)
 - 地域活動を支える機能・施設等

神田警察通り沿道に『エリア回遊軸等が交差する人が行き交う拠点<Node>』を複数形成・連携させ、多様な人を惹きつける 拠点群<Landmark>を整備

上位計画等から読み解く神田警察通り周辺地域ウォーカブルプランの構造化



神田警察通り周辺地域ウォーカブルプランの取組内容

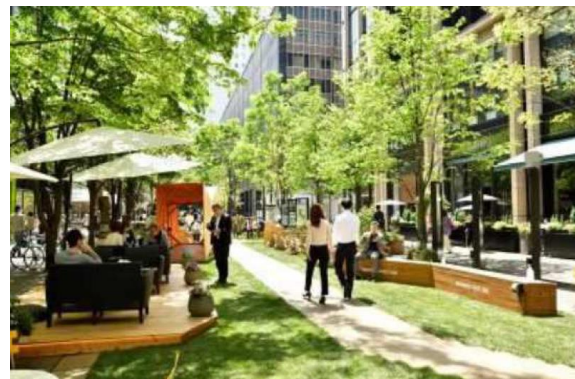
《地域の“背骨”として東西の賑わいをつなぐ神田警察通り + 沿道の整備》

神田警察通りにおける歩行者空間の整備

地域の“背骨”たる神田警察通りにおいて、車線数の減（4車線→3車線）やパーキングメーターの廃止等により、歩道部分を拡幅する

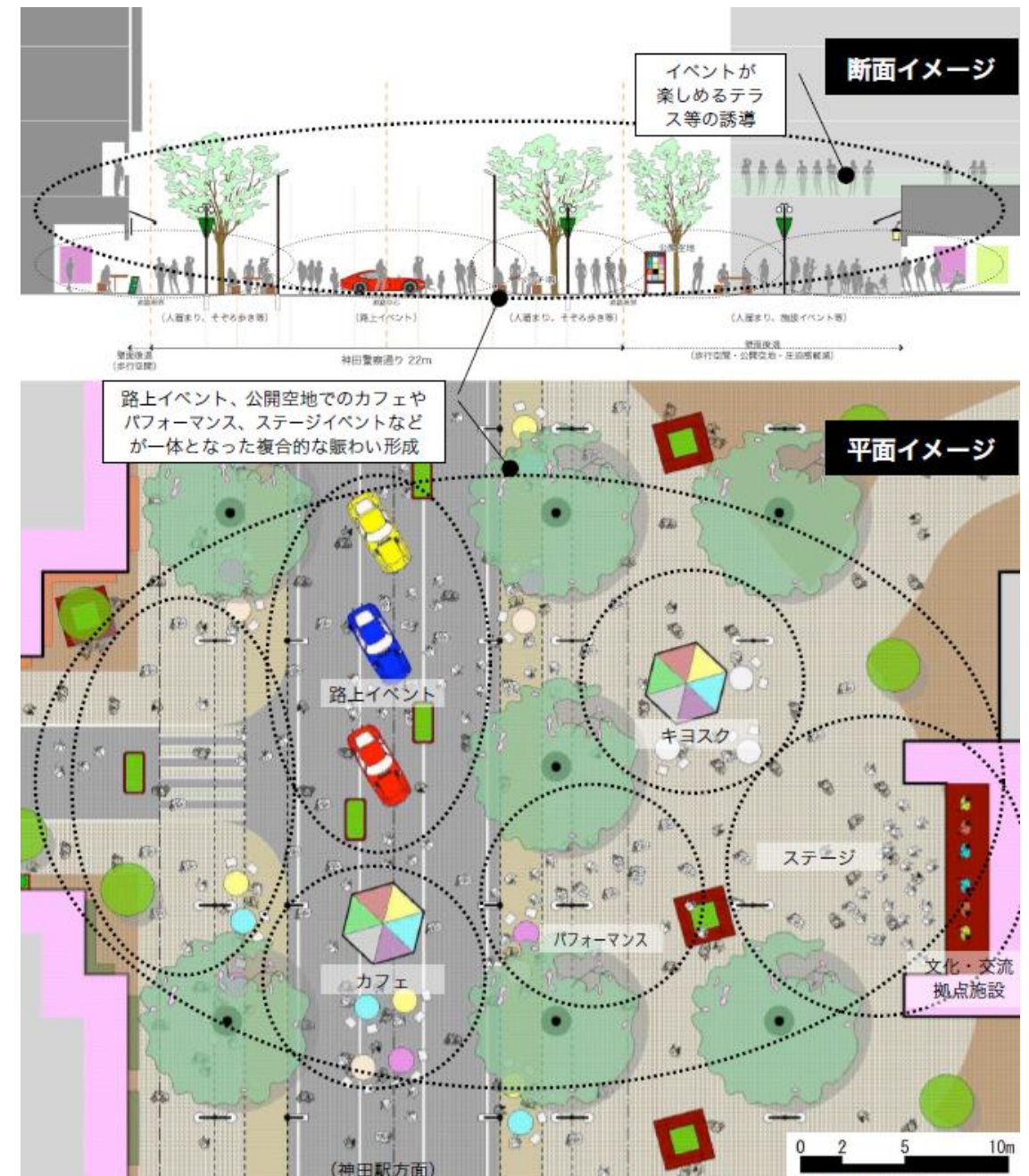


他地区における整備後の歩行者空間のイメージ



道路・空地・沿道建物が一体となった空間利用のイメージ

※祝祭時のイメージ（神田警察通り沿道賑わいガイドラインより）

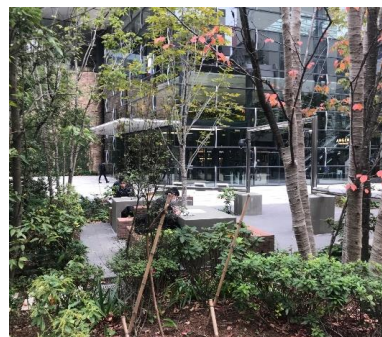
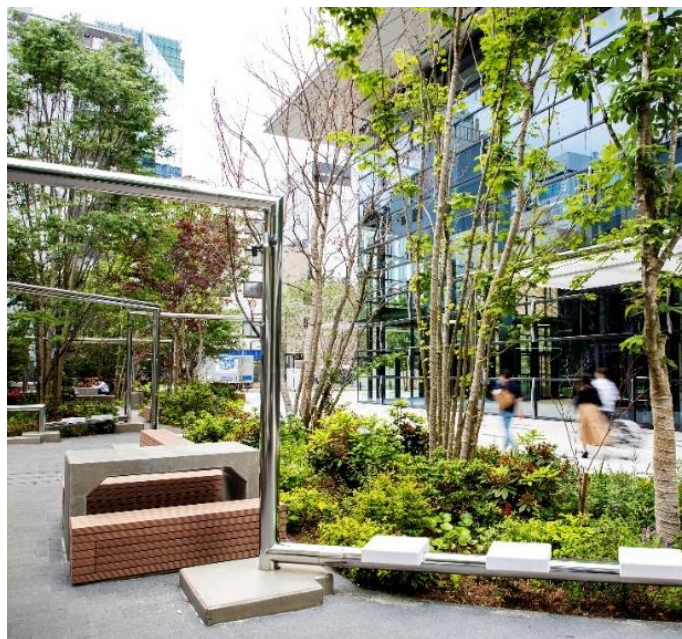


神田警察通り周辺地域ウォーカブルプランの取組内容

《警察通り沿道の拠点群整備》

神田警察通り周辺で目的地づくりを担う拠点整備イメージ

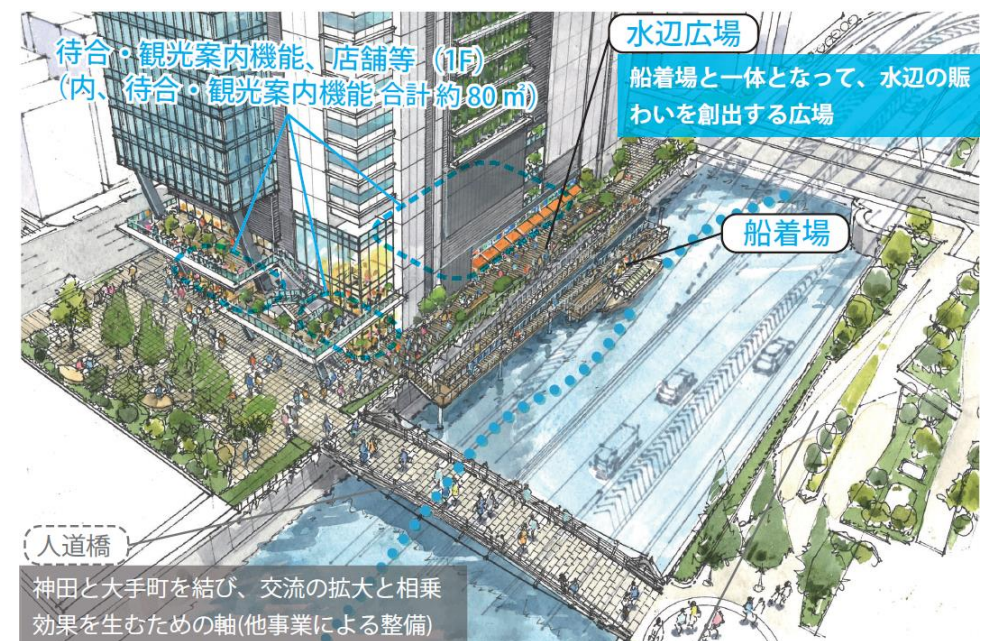
神田警察通り沿道の拠点開発に合わせ、地域に求められる広場等施設を整備して歩行者の目的地を形成することで、回遊性を高める



《玄関口となる拠点 + 歩行滞留空間整備》

玄関口や環境創造軸の賑わい整備イメージ

玄関口となる拠点整備にあわせて、地域資源である日本橋川沿いのアメニティ向上など、良質な空間を整備し、まちなかへの回遊性を高める



神田警察通り周辺地域ウォーカブルプランの取組内容

《出発地・目的地をつなぐ歩行者空間整備 + ヒューマンスケールなまちづくり》

周辺のまち等からの玄関口や既成市街地の中小規模のスケールを活かしたまちづくり

人を中心とした駅前空間、玄関口から目的地に向かう回遊軸の美装化にあわせ、特色ある通り沿道を中心にアクティビティの可視化を含めた低層部の賑わいづくりを行うことで、ヒューマンスケールな賑わいのある歩行者中心の沿道空間を発展させる



神田警察通り周辺地域における多様性のある“場づくり”のアイデア集

● 多様な人それぞれに居心地の良い空間づくり



多様な人の多様な使い方を想定し、それぞれにとって居心地の良い空間となるよう、配置、設えの工夫や機能分担等も大切

● 多様な使い方に対応できる可変性のある空間

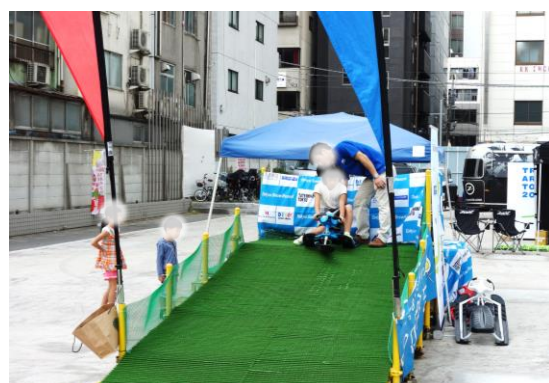


提供：3x3.EXE 2016



日常使いからイベント利用まで多様な使い方に対応できるよう、用途、領域等の可変性に配慮した空間づくりも大切

● 拠点等整備まで“まちの営み”を維持する仕組み



空きビル・空き地等をまちに開かれた場として積極的に一時活用することも大切

● 拠点整備をきっかけとした“産・官・学”の連携

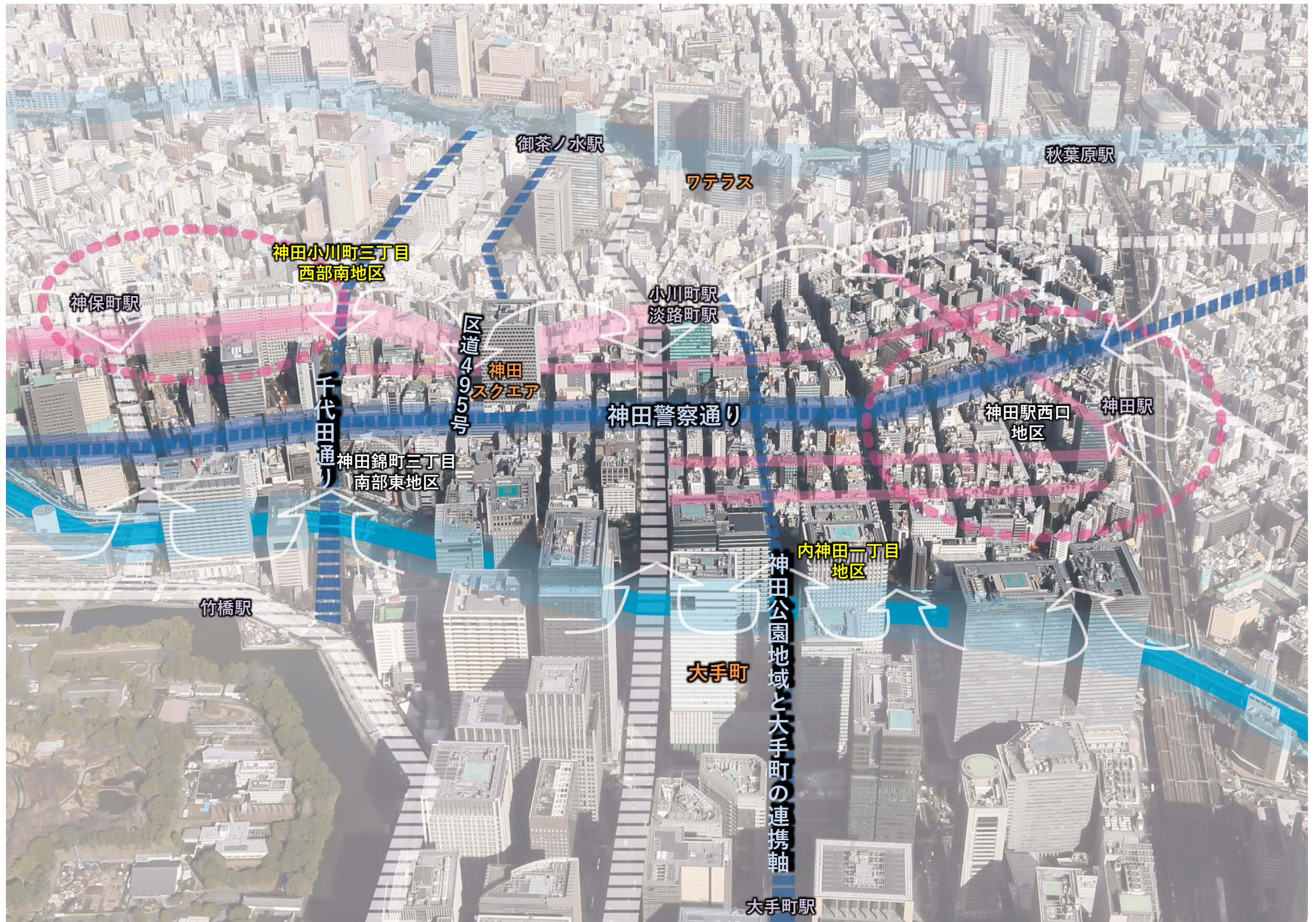


地域に根ざした企業や大学との連携も大切

3. 回遊性実現に向けたまちづくりのポイント（手法・体制）



神田警察通り周辺地域ウォーカブルプランの実現に向けたまちづくりの誘導



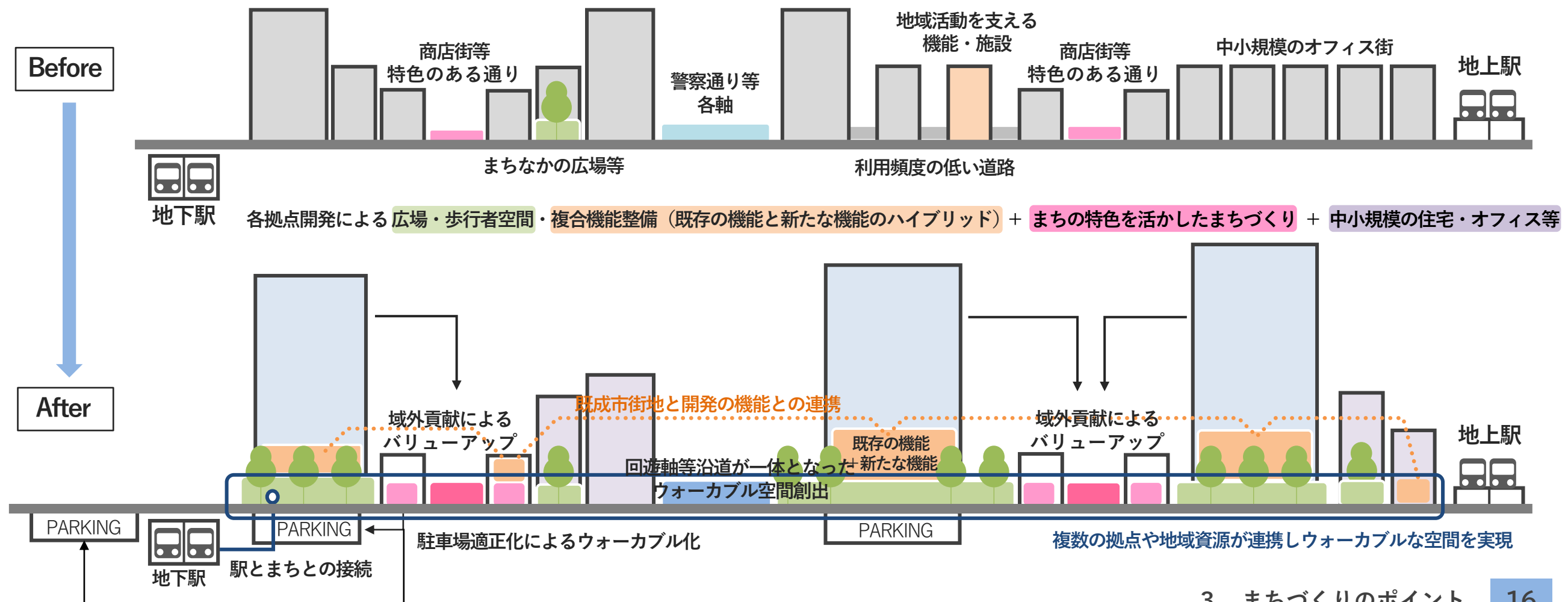
回遊性実現に向けたまちづくりのポイント

回遊性実現に向けたまちづくりのポイント（既成市街地と開発エリアとが連携したまちづくり）

- 地域資源（特色のある通り、古書店街等の個性のある店舗の集積、まちなかの広場等）を活かす視点が大切
- 開発だからこそ果たせる役割（広場整備、シームレスな歩行者空間整備、複合機能整備、地域資源を活かす域外貢献等）を共通認識とすることが大切
- 地域資源が立地するエリアや開発エリア以外の既成市街地においても、中小規模のスケールを活かしたまちづくり（建物更新）により、多様な質(規模・賃料)のオフィス・住宅・商業等の供給を促す視点が大切

『 ”既成市街地の建物更新” と ”拠点性のある開発” の両方を促すまちづくりの手法 』 の構築が必要

『 整備時の計画調整から整備後の運営管理までエリア全体を適切にマネジメントできる体制(プラットフォーム) 』 が必要



回遊性実現に向けたまちづくりの体制（プラットフォーム）

神田警察通り周辺地域のまちづくりを担うプラットフォームに求められる役割

- | | |
|-----|---|
| 役割① | 地域のニーズを踏まえ、既成市街地で取組むべきことと各開発（整備時・整備後）に求められることを調整する協議会的な機能 |
| 役割② | 開発からの協力等を原資に、既成市街地の整備・一体的な施設の運営管理の実務を担う機能 |

